

をりがみ
童話

お月様とたぬき

内山 憲 尙

折紙童話と申しますのは、折紙を利用いたしましてお話をするのであります。保育室で是非お試し下さい、幼児たちがいよいよよか、わかりません。

出るもの

たぬき 折紙のたぬき大小色もさりぎり七つばかり。小さいのは一寸位から大きいのは七、八寸位のもの。

お月様 畫用紙を丸く切つて、目鼻口を描く。
用意 ボール紙の三角形のもの、上を少し平らにして置く。保育室の中央に、このお山を立て置く。

(一番小さいたぬきを取り出して左側から、山へ登りながら)
「今晚は、お月夜だ、お山の上で、腹鼓でも打つて遊びませう。(山の上へ登る)まだお月様はお出ましにならないのかな、腹鼓でも打つて待つてゐませうさ、ボンポコボン、ボンポコボン(左右にリズムに合はせて動かす)

(山の右側から次に大きい②の狸を出して)

「今晚は、お月夜だ、お山の上で遊びませう」

(登つて来る小狸を見て)

「何んだい、君みたいなお山の上で遊びませう。こゝは僕の遊ぶところだよ、お帰りヨウ」

「そう、それじゃ、さようなら」

(元來た左側の方へ下りてしまふ)

「ごんなんだいなボンポコボン、ボンポコボン(左右に動かす)(次に大きい狸の③左側から出て来る)

「今晚はお月夜だ、お山の上で遊びませう」

(登つて来る、狸②を見て)

「何んだい、君みたいなお山の上で遊びませう。こゝは僕の遊ぶところだよ、お帰りヨウ」

「そう、それじゃ、さようなら」

(元來た右側の方へ下りて行って仕舞ふ)

「へん、ごんなんだいなボンポコボン、ボンポコボン(次に大きい狸の④右から出て来る)

「今晚は、お月夜だ、お山の上で遊びませう」

(登つて来る狸③を見て)

「なんだい、君みたいな小さいのは、こゝは僕の遊ぶところだよ、お帰りヨウー」

「そう、それじゃ、さようなら」(元來た左側の方へ歸つて行く)

「みんなもんじや、ボンボコボン、ボンボコボン」

(次に大きい狸⑤左の方から出て来る)

「今晚は、お月夜だ、お山の上で遊びませう」

(登つて来る狸④を見て)

「なんだい、君みたいな小さいのは、こゝは僕の遊ぶところだよ、お帰りヨウー」

「そう、それじゃ、さようなら」(元來た右の方へ歸つて行く)

「へへん、みんなもんだい、ボンボコボン、ボンボコボン」

(右の方から狸⑥出て来る)

「今晚はお月夜だ、お山の上で遊びませう」

(登つて来る、狸⑤を見て)

「なんだい、君みたいな小さいのは、こゝは僕の遊ぶところだよ、お帰りヨウー」

「そう、それじゃ、さようなら」(元來た左の方へ入つて行く)

「へん、みんなもんじや、ボンボコボン、ボンボコボン」

(左の方から狸⑦が出て来る)

「今晚は、お月夜だ、お山の上で遊びませう」

(登つて来る狸⑥を見て)

「なんだい、君みたいな小さいのは、こゝは僕の遊ぶところだよ、お帰りヨウー」

「そう、それじゃ、さようなら」(元來た右の方へ歸つて行く)

「へへん、みんなもんだい、ボンボコボンのボン、ボンボコボンのボン」

一番大きい狸が、大るばりで腹鼓をたたいてるますま、

お月様がニコニコしながら上つておいでになりました。
(靜かに月を出す)

「あ、お月様だ、お月様、今晚は……」

「あゝ今晚は……」

「今晚は、私ご遊んで下さいませんか」

「お前の様な大きいのは誰さでも遊べるが小さいのは、可憐さうだ、小さいものを可愛がつてやらなければならぬいよ、今晚は、私は一番小さいのミ遊んであげることにしませう」

ミ云つて、お月様は、黒い雲の中へスーミ入つてお仕舞ひになりました。(後の方へかくして)

(右の方から狸⑧が出て来る)

「お月様が、小さい子ミ遊ぶつておつしやつただらう」

「さうだ、君の方が小さいね、ではさようなら」(左の方へ入る)

「お月様ご遊ぼご、ボンボコボン」

(左の方から狸⑤が出て来る)

「君、お月さまが、小さい子ご遊ぶつておつしやつただらう」

「さうだ、君の方が小さいね、では、さようなら」(右の方へ入る)

「お月様ご遊ぼご、ボンボコボン」

(右の方から狸④が出て来る)

「お月様が、小さい子ご遊ぶつておつしやつただらう」

「ア、君の方が小さいネ、では、さようなら」(左の方へ入る)

「お月様ご遊ぼご、ボンボコボンのボン」

(左の方から狸③が出て来る)

「君、お月様が、小さい子ご遊ぶつて、おつしやつただらう」

「ア、君の方が小さいネ、では、さようなら」(右の方へ入る)

「お月様ご遊ぼ、ア、ボンボコボン」

(右から狸②登つて来る)

「お月様が、小さい子ご遊ぶつておつしやつただらう」

「ア、さうだ、君の方が小さいネ、では、さようなら」(左の方へ入る)

「お月様ご遊ぼご、ボンボコボン」

(一番小さい。左から登つて来る)

「お月様が、小さい子ご遊ぶつておつしやつただせう」

「ア、君は一番小さいネ、では、さようなら」(右の方へ下りて行く)

(お月様、靜かに登る)

「さあ、今晚は、一緒に遊んであげませう」

「お月様、ありがたう、うれしいな、僕、おごりますよ、
ボン ボン ボン ボン ボン ボン
ボン ボン ボン ボン ボン

(證城寺の狸囃の節で)

夜通しお月様ご踊つて遊びました。

◇狸は十正位にしてやるのが一番面白いです。形、色等に特色を持たせること。

◇反覆だけに興味があるのですから、リズム、反覆は丹念に正確にやつて下さいます様願ひます。

◇小さい狸の聲は可愛らしく、次第に大きくして、大きい狸の聲は太い聲を使用していたとくと効果がよほぢちがつて來ます。